

柿のブランド化による有利販売を実現

伊吹果樹組合は、渋柿「平核無(ひらたねなし)」を栽培しています。伊吹の平核無は滋賀県環境こだわり農産物認証を受けています。また、平成28年度より樹上脱渋による柿のブランド化を進めてきました。平成29年度にはブランド柿「霊峰(れいほう)」を本格販売し、環境こだわり農産物生産・流通促進事業を活用して大手量販店での販促活動を行い、好評を得ました。

【概要】

- ・ 組織名 伊吹果樹組合
- ・ 構成員 農業者26戸
- ・ 取組作物 かき
- ・ 取組活動 IPMの実践
- ・ 取組面積 5ha

取組のきっかけ・概要

- ・ 伊吹果樹組合は、環境にやさしく安全・安心な柿を消費者に届けるため、「滋賀県環境こだわり農産物認証」を受けています。
- ・ さらに、より多くの人に伊吹の柿に親しんでもらうため、「樹上脱渋(じゅじょうだつじゅう)」によるブランド化を行い、ブランド柿「霊峰」を作りました。



(左) 黒い果肉の「霊峰」
(右) 通常の平核無柿

取組による効果

- ・ 平成29年度は、「霊峰」を6個入り3,240円で、214箱を販売しました。また、2個入りパックを330パック販売しました。
- ・ その結果、全体の売上げも平成28年度に比べて28%アップしました。



大手量販店での「霊峰」の販促活動